

≪ 第 167 回 エフエムぬまづ番組審議会 議事録 ≫

1 開催年月日 2026 年 5 月 15 日(金)17:30 より

2 開催場所 沼津市寿町 8-28 メディアプラザ 1F 会議室

3 委員出席 委員総数 6 名
出席委員数 3 名

出席委員氏名 大川 皓平
保坂 典子
林 伸晃

欠席委員氏名 井上 純代
杉本 万千
高木 隆太

放送事業者側出席者名 田中 誠
植田 航平
浅田 智子

4 議題

聴取番組名「ヌマ・ノ・トビラ」

毎週金曜日 20 時 00 分～

2026 年 5 月 1 日放送分

5 審議内容

(事業者側:植田) 定刻になりましたので第 167 回番組審議会を開催いたします。

本日、ご審議いただく番組は、今年度より開始の、移住・地域の魅力発信をテーマとした新番組「ヌマ・ノ・トビラ」より、5 月 1 日放送回です。

沼津市を舞台にしたテレビアニメ「ラブライブ！サンシャイン!!」をはじめとし、様々なきっかけを通じて、沼津市あるいはその周辺地域に移住されたり、移住を考えていらっしゃる方へ向けて、プラスになるような情報、そして地元で聴いてくださっている方へ向けて、地元の魅力を再発見していただけるような番組づくりをしています。

5 月 1 日に放送した内容は、「市歌・町歌」を取り上げ、市歌・町歌の認知度や聴いてみての感想、歌詞から読み取れる地元の魅力などを深く掘り下げています。今回は、移住というよりも、地元リスナー向けの内容となっております。

出演者につきましては、提供いただいている 3 社のみなさん、番組進行として私植田、この 4 名で番組をお届けしています。

それでは、よろしくお願いいたします。

(番組聴取)

(事業者側:植田) それでは、大川委員長に審議の進行をしていただきたいと思います。

よろしく申し上げます。

(大川委員長) お願いします。この番組音源は何回目の放送になりますか。

(事業者側:植田) 4月から始まった番組ですので、5回目です。

(大川委員長) 分かりました。それでは、まず林委員からご意見を申し上げます。

(林委員) これまでのコミュニティ放送局で、「移住」をテーマに取り上げることはなかなかないことだったかと思います。全国で放送が聴けるサイマルラジオがあってこそこの番組だと思いました。今後どのようにしてこの番組を、市外・県外の方々に向けてアピールするかが大事だと思います。

沼津市歌の話が個人的に興味深かったので、聴き入ってしまいました。

番組自体は楽しそうに進行されていて、聴きづらくもなく良いと思います。

出演者が全員男性なので、一人でも女性の声が入るとまた雰囲気が変わるのかなと思います。

思いのほか、お昼のチャイムが沼津市歌だということが浸透していないんですね。長泉町歌、清水町歌も初めて聞き、大変勉強になりました。

(保坂委員) 始まったばかりの番組ということもあり、みなさん仲良く楽しそうにされていたのが伝わりました。

沼津市歌は、どこかで聞いたことのあるメロディーだと思ったらお昼に流れるチャイムだったんですね。次回の放送で取り上げる「県歌」も興味が湧き

ました。

この番組は、沼津市外や県外の方はどこかで聴くことができますか。

(事業者側:植田)聞き逃し配信はできませんが、インターネットサイマルラジオですと全国各地で聞くことができます。

(保坂委員) 沼津での暮らしを考えている方が、この番組をきっかけとして移住をしてきて、沼津市歌の歌詞のように、“栄えゆく街”になれば良いなと思っています。番組が長く続くためには、充実した内容にしていくことが必要だと思います。

(大川委員長) この放送回に限った意見かもしれませんが、市歌をいつ流すのか、前振りが長いと感じました。ところどころ、トーク BGM が聴こえづらい箇所がありました。

また、出演者が多いと感じます。スポンサーさんなので調整等難しいところではありますが、1 回の放送で全員が喋るよりも、ローテーションで 1 人～2 人が出演するという方法でも良いかもしれません。スポンサーであるお三方の専門とされていることを生かせる内容にしたほうが、より充実した番組になると思います。長く番組が続き、出演者のキャラクターなどが浸透・定着すれば、複数人による 1 時間のトークも苦ではないです。

進行役である植田さんが、それぞれの出演者の棲み分けや、出演にあたりどういった役割を持たせるかなどを考えて話を振ったり、構成したりしてほしいと思います。

(事業者側:植田) ご意見ありがとうございます。スポンサー様ですので、みなさんには満遍なくご出演いただきたいという制作側の意図があります。今回お聴きいただいたのは、1時間番組のうち20分弱をまとめたものですので、私の喋りが多く感じたかと思いますが、番組作りをするなかで、みなさんが平等に発言できるよう進行を務めています。

今回、市歌・町歌をテーマとし、地元の魅力を再発見するという内容をお届けしました。歌詞に注目しながら、当時は私たちのまちにこのような魅力があり歌詞にしたということや、自分のまちに歌があるという新たな発見に繋がれば良いなと思いながら、番組を制作しました。

(林委員) 回を重ねていくうえで、実際に移住をされた方などをゲストに呼んでも面白いかもしれませんね。

(事業者側:田中) 審議していただきありがとうございました。

番組のテーマのひとつに、「沼津の魅力を発信する」というものがありますので、サイマルラジオでエリア外の人にも聴いてもらい、楽しめる番組であるからこそ、沼津へ移住をしたい、訪れてみたいと思っていただけるような番組内容を構成する必要があります。

回を重ねて番組の認知度を高め、ゲストを呼んだりインタビューをしに行ったりなど、沼津に移住して沼津の良さを肌で感じている人の話も聞けると、より充実した番組になると感じています。この番組は始まったばかりで、改善の余地が多いので、引き続きより良い番組づくりをしていきます。

6 審議会での意見についてとった措置について

各委員から頂いた意見や感想については、今後の自社制作番組に活かし、より良い番組作りをする検討材料とします。

7 審議会の内容の公表

公表の方法 自社ホームページにて公表

(https://www.coast-fm.com/aboutcompany_council.html)

公表内容 番組審議会議事録

公表年月日 2026年5月22日

8 その他の参考事項

次回番組審議会は、2026年7月10日(金)17:30より開催

以上